りんご栽培情報 第４号

令 和 ５ 年 ６ 月 ２ ２ 日
Ｊ Ａ ア ル プ ス
富山県富山農林振興センター

１ 概況

園芸研究所果樹研究センターの調査では、６／15（満開 59 日後）の「ふじ」の果実横径は、45.5㎜（前年比 101、平年比 98）で、前年、平年並みに推移しています。

梅雨時期は、褐斑病、輪紋病の重要防除時期です。晴れ間を見て、散布ムラのないよう丁寧に防除してください。

２ 今後の病害虫防除（成園）

（散布量は 10a 当たり 500ℓ／10a）

回	時期	対象病害虫	散布薬剤名	希釈倍率	100ℓ当たり必要薬剤量
10	7月上旬(前回防除の10日後頃)				
	非ボルドー体系	輪紋病、褐斑病、斑点落葉病、炭疽病	パスポート顆粒水和剤	1,000倍	100 g
			トップジンM水和剤(※1)	1,500倍	66 g
		ハマキムシ類、キンモンホソガ、モモシンクイガ、ナシヒメシンクイ	ダイアジノン水和剤34(※2)	1,000倍	100 g
		展着剤	マイリノー	20,000倍	5 mℓ
	ボルドー体系	輪紋病、褐斑病、斑点落葉病、炭疽病	ICボルドー412	30倍	3.3 ℓ
		ハマキムシ類、キンモンホソガ、モモシンクイガ、ナシヒメシンクイ	ダイアジノン水和剤34(※2)	1,000倍	100 g
			(※3)		
11	7月中旬(前回防除の10 日後頃)	斑点落葉病、褐斑病、輪紋病、炭疽病	ダイパワー水和剤	1,000倍	100 g
		シンクイムシ類、ハマキムシ類、ケムシ類、キンモンホソガ	サムコルフロアブル10	5,000倍	20 mℓ
		展着剤	マイリノー	20,000倍	5 mℓ
12	7月下旬(前回防除の 10 日後頃)				
	非ボルドー体系	輪紋病、斑点落葉病、褐斑病、炭疽病	ナリアWDG	2,000倍	50 g
		ハダニ類	ダニオーテフロアブル(※4･5)	2,000倍	50 mℓ
		展着剤	マイリノー	20,000倍	5 mℓ
	ボルドー体系	輪紋病、斑点落葉病、褐斑病、炭疽病	ナリアWDG	2,000倍	50 g
		ハダニ類	ダニサラバフロアブル(※4)	1,000倍	100 mℓ
		展着剤	マイリノー	20,000倍	5 mℓ

※1 トップジンM水和剤は降雨が続く場合に混用する(年間6回以内)。斑点落葉病、炭疽病に登録はない。
※2 コンフューザーR設置ほ場では、害虫の発生状況を確認した上で、10回目防除の殺虫剤(ダイアジノン水和剤34)を省略することができる。
※3 展着剤は使用しなくても支障はない。
※4 殺ダニ剤を散布する際、2～3日前に園地の草刈りを実施する。
※5 ダニオーテフロアブルを散布した後に銅剤(オキシラン水和剤)を散布する場合は、10 日程度散布間隔をあける。
※ 摘果時にカメムシの吸汁被害が目立つ園地では、定期防除とは別にスミチオン水和剤 40(1,000 倍、収穫前 30 日まで、年間3回以内)を単用散布する(早生品種は、収穫前日数に注意)。

３ 徒長枝の整理

主幹や主枝から多数の徒長枝が混み合っていると、褐斑病やハダニの発生源となるため、主幹から１ｍ程度までの主枝上の徒長枝はすべて切除しましょう。また、主幹から１ｍより先の主枝の背中から伸びた徒長枝は、混み合った部分を整理しましょう。ただし、極端な整理は日焼けや樹勢衰弱を招くので注意してください。

★ 農薬を散布するときは、周辺の他の作物に薬剤が飛散しないよう十分注意してください。
★ 熱中症予防のため、こまめに水分を補給しましょう。